

洪水浸水想定区域（想定最大規模）はどうやって決めたの？

こちらの面の洪水浸水想定区域^{※1}の範囲やその深さは、境川水系の想定し得る最大規模の降雨（24時間で632ミリ）及び大岡川水系の想定し得る最大規模の降雨（24時間で332ミリ）を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307ミリの降雨を観測しています。^{※2}
なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していません。したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

- ※1 神奈川県ホームページ
(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t4i/cnt/f3747/p1039490.html>)
※2 横浜地方気象台ホームページ
(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/>)



港南区洪水ハザードマップ
洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

境川水系河川：平戸永谷川、芹谷川
大岡川水系河川：大岡川、目野川

この洪水ハザードマップは、境川水系・大岡川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは
「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3 建設計第9024号 横浜市建設局都市計画基本図データ（地図レベル2500）により作成
河川	横浜市建設局都市計画基本図データ（地図レベル2500）により作成
浸水想定区域	境川水系浸水想定区域 大岡川水系浸水想定区域
浸水警戒区域	横浜市建設局 土砂災害警戒区域（令和5年12月現在）
土砂災害特別警戒区域	横浜市建設局 土砂災害特別警戒区域（令和5年12月現在）

風水害時における避難場所について

- ◇災害時には、下記の避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合がありますので、避難の際は、必ず、市・区のホームページやテレビ（データ放送）等で開設されている避難場所をご確認ください。
- ◇2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。
- ◇すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。

なお、港南区では避難場所として、下記に示した施設を優先して開設します。

- 状況Ⅰ 土砂災害警戒情報の発表（可能性があるとき）
状況Ⅱ 河川の増水による洪水の発生（恐れがあるとき）
状況Ⅲ 区内全域で多くの被害の発生（恐れがあるとき）

No.	避難場所	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	対象河川
①	港南地区センター	○	○	○	平戸永谷川・芹谷川
②	野庭地区センター	○	○	○	
③	永谷地区センター	○	○	○	
④	永谷小学校	○	○	○	大岡川・目野川
⑤	永谷高校	○	○	○	
⑥	目下小学校	○	○	○	大岡川・目野川
⑦	横浜南陵高校	○	○	○	
⑧	東永谷地区センター	○	○	○	大岡川・目野川
⑨	港南台地区センター	○	○	○	
⑩	永野小学校	○	○	○	大岡川・目野川
⑪	桜岡小学校	○	○	○	
⑫	丸山台小学校	○	○	○	大岡川・目野川
⑬	斉信館（横浜刑務所）	○	○	○	

※対象河川が複数の避難場所は、いずれかに避難指示等が発令された場合に開設します。

横浜市水防災情報

横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。
スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。

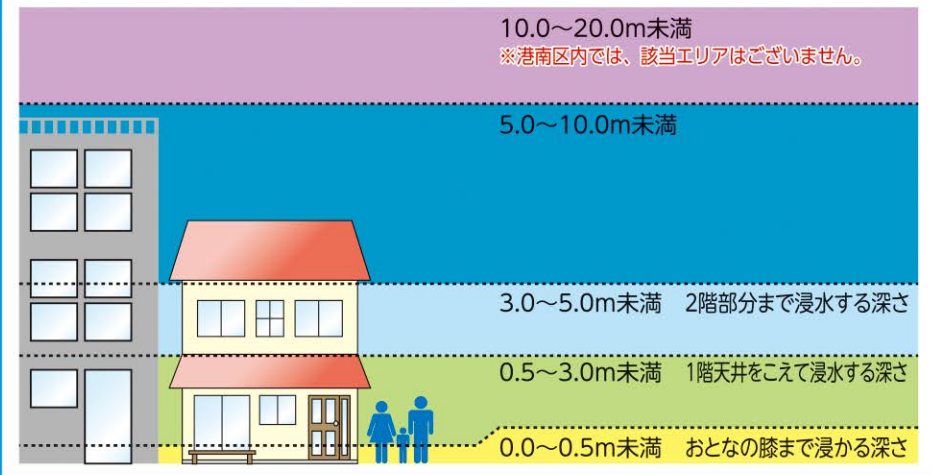


想定条件

境川水系：24時間で632mmの降雨
大岡川水系：24時間で332mmの降雨

凡例（Explanatory Notes）

◎浸水深のめやす



※内水ハザードマップの浸水深とは、浸水開始直後が異なります。

◎避難する際に注意する箇所

家屋倒壊等氾濫想定区域（河川浸食）	河川浸食により家屋が倒壊・流出するおそれがある区域の目安 ※家屋の構造、強度特性や護岸対策等の違いにより、この区域の境界はあくまでも目安です。
アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所（進入すると危険なため、冠水時の通行は控えてください）
土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがある区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域であり、特定の開発行為に対する許可、建築物の構造規制等が行われます。

都県界	高速道路・有料道路
市区界	主要道路
町丁目界	避難場所
J R線・駅	雨量観測所
私鉄線・駅	水位観測所
市営地下鉄線・駅	河川監視カメラ